

一人ひとりの学びを確かなものにし、誰一人取り残さない学校をめざして

- 行事前や授業補填日を除き、水曜日6時間目を「自学時間」と位置づけ、5時間授業とします。
→「自学時間」には部活動を実施しないこととし、家庭学習の充実を促す取り組みを行うとともに、**教員による放課後学習サポート**を行うなど、個に応じた指導を充実させます。
- 従来のテスト期間に変わる学習期間を設定するための検討を行います。
- 令和6年度からの完全単元テスト化への移行期間とし、**教科によっては定期テストを行わず、単元テストやパフォーマンス評価、授業の様子による学習評価を行う教科もあります。**
- 生徒が自身の学習面の成果や課題を把握し、学習改善につなげることや教員の授業改善に生かすことを目的に、複数回**全学年で「総合力テスト」**を実施致します。

○単元テスト化への背景

1 学習活動や評価の変化

以前の相対評価における評価の内容

- ※ペーパーテストだけで評価
- ※提出したかどうかや提出回数で評価



2021年～現在の**絶対評価(目標準拠評価)**における評価の内容
→授業のねらいにそって、何が身についたかを評価する。
例 授業での様子、ノートの記述、話し合いの様子、単元テストの結果、パフォーマンス、学習者自身の振り返り

学校での学習の中で教員も生徒も大切にしている三つの観点
【知識・技能】・【思考・判断・表現】
【主体的に学習に向き合う態度】

「評価」の意味…今自分に何ができて何ができていないかを把握し、「次の学習」に生かすこと

A…「十分満足できる」 B…「おおむね満足できる」 C…「努力を要する」

POINT★ 各評価からわかる学習の状況 ※評価はBが基準

B…教科書の基本レベル=学校で身に着けるべき内容が身についている状況

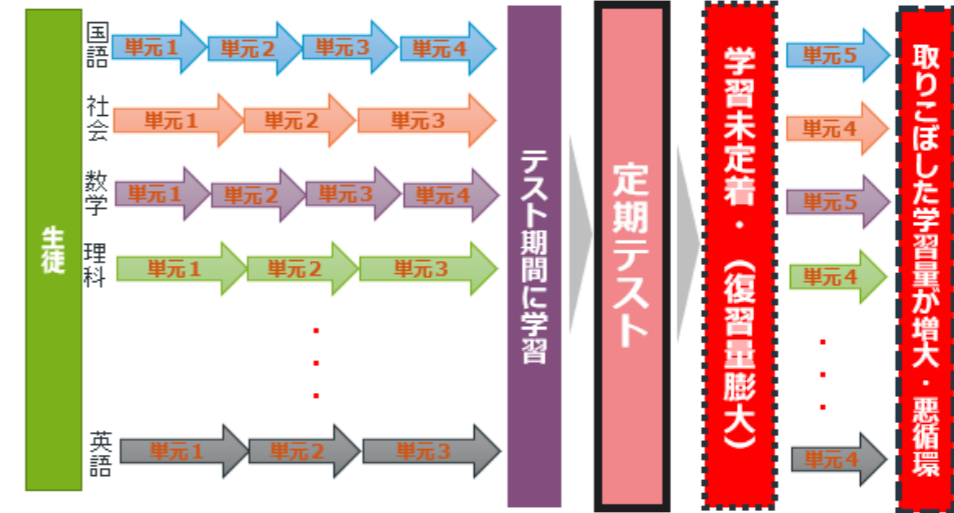
A…B以上の学習を実現している状況 (既習内容や他教科の内容と結び付けたり他者の意見からさらに自分の学びを深めたりしている/しようとしている)

C…Bに達していない状態 <速やかな学習改善が必要>

2 これまでの定期テストにおける課題

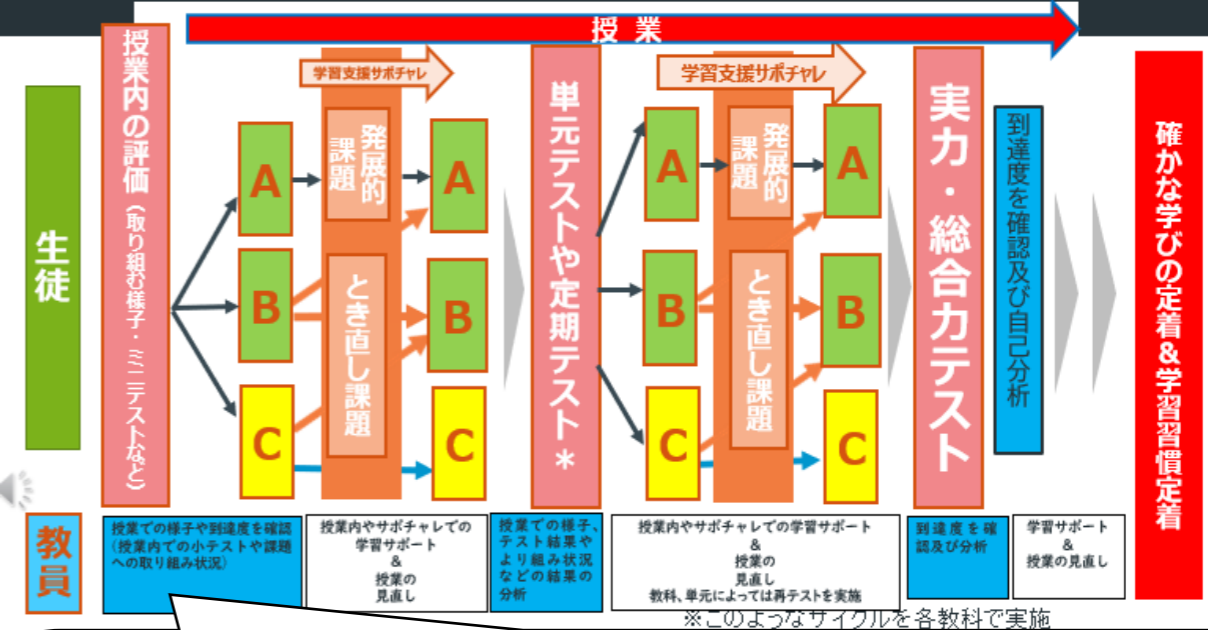
→定期テストでは苦手を改善していく学習サイクルが作りにくいのが現状です。複数の教科のたくさんの単元を定期テスト前に生徒は一気に詰め込むような形で学習することになっており、学習がきちんと定着していないままテストを受ける生徒が多い状況です。またテストの結果、できていない単元の学習が未定着な部分も膨大な量になっております。例えば、学期末のテストが終わった後、生徒自身も教員も十分に対応できていない状況があり、特に数学や英語などの積み上げ方の教科では前の段階の内容が分からないと次の段階に進めないものが多い状況です。このような中で、学習の取りこぼしが次第に増加し、授業についていけない生徒が年を追うごとに増えていくという課題があります。

現在の定期テストでは、**苦手を「できる」「わかる」に変える「学習サイクル」**を作りにくい



→「取りこぼし」が、次第に増加し、フォローアップ週間だけでは補えない

一人ひとりの学びが確かなものになるために



生徒の授業中の取り組みの様子やミニテストなどの評価活動で、生徒が早い段階でつまづきを発見できるようにします。また、つまづきのある生徒に対しては授業内で個別の学習サポートを行ったり、あるいは放課後「サポート教室」で補習を行ったり、できるだけ単元が進んでいる段階でつまづきをなくす取り組みを行っていきます。その後、単元テストでつまづいた場合も「サポート教室」で補習を行い、理解出来ていない部分の学習支援を行います。教科や単元によっては、再テストを行う場合もあります。その際CやBの状態の生徒の力が再テストで高まっていると教員が判断すれば、そのついた力を評価します。また、年に複数回、総合力テストや実力テストを行うことで、基礎から応用まで、これまでに学んできたことが身に付いているかを広い範囲で現状把握し、生徒は学習改善に、教員は授業改善に生かしていきます。定期テストがなくなったからといって入試に不利になるということはありません。それよりも着実に単元ごとに力をつけていき、このような総合力テストや実力テストの結果から改善を計ることが入試や今後生きてくると考えています。

令和5年度の学習スケジュール

	1年生	2年生	3年生
1学期	各教科単元テスト 期末テスト(教科による)	各教科単元テスト 総合力テスト 期末テスト(教科による)	各教科単元テスト 総合力テスト (2年生までの範囲) 期末テスト(教科による)
2学期	各教科単元テスト 総合力テスト 期末テスト(教科による)	各教科単元テスト 総合力テスト 期末テスト(教科による)	各教科単元テスト 第1回実力テスト 第2回実力テスト 期末テスト(教科による)
3学期	各教科単元テスト 総合力テスト	各教科単元テスト 総合力テスト	各教科単元テスト 第3回実力テスト

サポート教室

チャレンジ教室

R4 プレ実施時の様子

※5時限後の学習会等を実施



サポ…復習中心の学習支援会

- ・授業内の様子や確認問題の様子から「努力を要する」生徒を抽出
- ・テストを実施の前後に行う。
- ・出来ないをできるに変える教室



チャレ…学習会/質問会

- ・プリント学習・タブレット学習
- ・全教科の先生が生徒の質問対応
- ・できるを増やす教室

サポ&チャレの目的及び概要

目的・生徒が授業内での「つまづき」を教員とともに「分かる」に変える学習支援の充実
・学習内容の定着のための個別最適な学びの時間の設定

時間：14時45分～15時35分5時間授業、掃除&終礼後
活動を行うクラブは原則15：45集合開始16：00スタートです。

教室の特徴

	指定2教科サポート教室	チャレンジ教室	家庭学習
対象	・授業内で「つまづき」がある生徒 ・授業欠席生徒 *教科担当から参加の声かけがあります。	学校で学びたい生徒 先生や友だちに教えてほしい、質問したい生徒 1人(自宅)では学習が進まない...という生徒	1人で課題に取り組みたい生徒、取り組める生徒
内容例	・授業時のPOINTおさらい ・演習問題→解説及び質問受付 ・パフォーマンスの上達へ向けた練習など 教科担当による指定学習	・自分で選んだ学習物 ・eライブラリでの学習 ・ノート整理など ・パフォーマンス課題へ向けた練習など 自分で教科&教材を選ぶ自主学習 *上記について、教員への質問や学習についての相談可	・自分で選んだ学習物 ・eライブラリでの学習 ・ノート整理など ・パフォーマンス課題へ向けた練習 など 自分で課題を選ぶ家庭学習

単元テスト化移行に関するQ&A

○定期テストは令和5年度実施しないのですか。

→移行期間ですので、実施する教科としない教科に分かれます。しない教科については定期テストの代わりに、授業での様子、ノートの記述、話し合いの様子、単元テストやパフォーマンス課題の結果、学習者自身の振り返りを評価します。

○単元テストがいつ行われるのか保護者にもわかるのですか。

→HP、COCOOの活用で単元テストについての情報を随時発信します。

○テスト期間中の部活動の活動制限は、令和5年度から無くなるのですか。

→令和5年度は定期テストを実施する教科もありますので、テスト期間は設けます。また、令和5年度の1年間をかけて代わりとなる学習期間の検討を行っていきます。

○定期テストを実施せずに、高校入試には通用するのですか。

→学校で習った内容についての定期テストではなく、さらに基礎や応用など、広い範囲での総合力テストを1年生から年に複数回実施し、状況を把握していきます。この「総合力テスト」は高校入試の指標や、入試問題の対策になる全国レベルの問題です。そのため、高校入試に向けて、まずは授業内での学習を確かなものにしていき、「総合力テスト」や「実力テスト」で学習状況を把握することで、自身の学習改善につなげることができます。このことから、高校入試に十分通用すると考えます。なお、高校入試に不利になるということはありません。

○実力テストや総合力テストは成績に入りますか。

→評価(成績)は単元ごとの学習を終えた際に、単元ごとに算出しているため、実力テストや総合力テストの結果は成績には含みません。しかし、自分の力がどれだけついたのか、これまでの学びが定着しているかを確認できる大切なテストであるため、結果は、生徒及びご家庭にも懇談などを通じてお返しいたします。

○高校入学時や大学入試の際に通用するのですか。

→高校の学習指導要領が令和4年から変更され、高校も中学校と同じように《知識・技能》《思考・判断・表現》《主体的に学びに向かう力》の三つの観点で学習を行っています。そのため、高校の授業における探求活動が増え、観点別評価など単元ごとに評価をしている学校が増えているのが現状です。また、大学入試についても少しずつ変更されています。そのため、詰め込みや暗記によるテスト勉強ではなく、単元ごとに着実に力をつけていくことで、その先の高校での学習や大学入試にも生きてくると考えています。

サポ&チャレに関するQ&A

○サポ&チャレの参加は必ずしなければならないのですか。

→水曜日6限目は「自学時間」という位置づけのため、学校で学習をしない場合は、自宅での学習に取り組む形になります。自学時間は個別最適な学びを実現するために設定しているものです。必ず参加しなければならないものではなく、自宅で学習に取り組むという生徒は、自宅学習を選んでいただいて構いません。なお、毎週月曜日にサポチャレへの参加の有無や学習計画を提出してもらい、教員が確認いたします。また、自学学習後の木曜日には自学時間に取り組んだ内容を簡単に報告してもらう予定です。